

2026年5月24日

(朝 10:30-11:30)

聖日礼拝

司会 城尾マコト 牧師

前奏	全員黙祷 「新聖歌 23 番」	
招詞	ローマ人への手紙 5 章 8 節(新 238 「頁」)	司会者
頌栄	♪ 新聖歌 60 番	
主の祈り		全 員
使徒信条		全 員
交読文	新共同訳 6 番 詩篇 22 篇 935 頁	司会者・全 員
聖書	使徒行伝 9 章 3~6 節(新 195 頁)	司会者
讃美歌	♪ 新聖歌 115 ああ主は誰がため	
祈 禱	司会者による祈り ♪ 子供達の祝福の為の賛美 484 番	
讃美歌	♪ 新聖歌 311 いかに恐るべき	
メッセージ	「神の義と神の愛」	城尾マコト 牧師
讃美歌	♪ 新聖歌 316 御言葉なる 証とお知らせの時間	
献 金	♪ 新聖歌 55 番	
頌 栄	♪ 新聖歌 63 番	
主の祈り		司会者・全 員
後 奏	全員黙祷 ♪新聖歌 59 番	



Youtube



Facebook



Home Page

使徒行伝 9 章「神の義と神の愛」

招詞 ローマ人への手紙 5 章 8 節

まだ罪人であったわたしたちのために、キリストが死んでくださった。それによって神はご自身の愛を示してくださいました。

聖書箇所 使徒行伝 9 章 3~6 節

ダマスコへの道でサウロは天からの光に包まれ、地に倒れました。「サウロ、サウロ、なぜわたしを迫害するのか」。その声こそ、彼が迫害していたイエス・キリストでした。

十字架に現れた神の義と愛

イエス・キリストの十字架の死と復活において、神の愛と神の義は同時に現れました。「これはわたしの愛する子」。義なる神が、罪人のためにひとり子を与えてくださった。これが福音の核心です。

サウロの使命

パウロはただ一点を宣べ伝えました。「イエス・キリストこそメシヤである」と。ダマスコへ向かったのはクリスチャンを捕らえるためでした。しかし、主は彼に言われました。「わたしは、あなたが迫害しているイエスである」と。ラビであったサウロの確信は、光の中で根底から覆されたのです。

回心と召命

主はサウロの内側の恐れと不安もご存知でした。そのような彼を見込んで、主は回心と同時に使命を与えられました。異邦人への伝道、使徒としての任命です。回心と召命が同時に起きたことの大きさを、覚えたいと思います。

罪人のかしら

回心したパウロは自分の罪深さを知りました。第 1 テモテ 1 章 15 節で「わたしはその罪人のかしらです」と告白しています。使徒に値しない者を選んでくださった神の配慮を、決して忘れないように。

アナニヤの従順

主はアナニヤに幻を与え、「ただ今サウロは祈っている」と告げました。アナニヤは戸惑いつつも従い、ユダの家へ赴きました。手を置くと、サウロの目からうろこのようなものが落ち、目が見えるようになりました。彼はバプテスマを受け、食事をして元気になりました。

城尾マコト 牧師

主の祈り

天にまします我らの父よ、ねがわくばみ名をあがめさせ給え、御国を来らせ給え、御心の天になるごとく地にもなさせ給え。

我らの日用の糧を今日も与え給え、我らに罪をおかすものを我らがゆるすごとく、我らの罪をもゆるし給え。

我らをこころみにあわせず、悪より救い出し給え。

国と力と栄とは限りなく汝のものなればなり。

アーメン

使徒信条

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。我はその独り子我らの主、イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりてやどり処女マリヤより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け十字架につけられ、死にて葬られ、陰府に下り、三日目に死人の内よりよみがえり、天に昇り、全能の父なる神の右に坐したまえり。

かしこより来りて、生ける者と死ねる者とを審きたまわん。我は聖霊を信ず、聖なる公同の教会、聖徒の交わり、罪の赦し、身体のよみがえり、永遠の生命を信ず。

アーメン

子供讃美歌 484 神様ありがとう

神さまありがとう 今朝受けた恵みと
心の糧を 感謝します
神の子供として 歩んでいけるように
いつもそばにいて お守りください

父なる神さま 御子なるイエスさま
御霊の神さまに ハレルヤ アーメン

日之影キリスト教会 週報



【住所】

〒882-0402 宮崎県西臼杵郡日之影町岩井川 2724-1

【献金口座】

■ 宮崎銀行 高千穂支店 普通 117216 城尾マコト

■ ゆうちょ銀行 店名 四一八 店番 418 普通 3873744

記号 14140 番号 38737441 城尾マコト